



©KPE

## ◎マジカルハロウィン5

今回はマジハロ最新作「マジカルハロウィン5」を取り上げます。

シリーズの中でも特に人気だったマジハロ2をベースに開発された本機は、シリーズで最も軽いボーナス合成確率に、より進化したARTを搭載。

2月22日からホール導入予定で、初期販売台数は約1万台とのことですが、それ以上に注目を集める可能性を秘めています。

ボーナス+ART機。設定1で1/167.2とシリーズ史上最も軽いボーナス合成確率と、6種類のART（1セット30or100G、純増約1枚/G）でプレイヤーを引きつける。

# 今後のA+ART機を占う一台

1セット30or100GのA+ART（純増約1枚/G）機で、コイン単価は約2.4円、ベースは50枚当たり約32G、出玉率は97.1~110.7%。ボーナス合成確率は1/167.2~1/150.3、ART初当たり確率は1/376.5~1/272.2。天井は777Gで、ARTが確定します。

### ■基本的な流れ

通常時は100G周期かレア役で、ボーナス当選のチャンスとなる高確率ゾーンへ。そこからボーナス当選を経て、ARTに、というのが本機の基本的な流れ（通常時からのART突入は天井とフリーズ発生時のみ）。シリーズおなじみのARTストック演出「まじかるちゃんす」も健在です。

### ■ボーナス

ボーナスは、獲得枚数の異なる3種類のBB（256枚、200枚、176枚）と、RB（48枚）の計4種類です。

BB中はカボチャぞろいのほか、「まじかるちゃんす」発生でARTが確定。「まじかるちゃんす」発生によるART確定の場合、従来の宝箱の種類に加えて、今回は王冠の種類でもストック数を示唆します。

一方、RBは通常時に引いたのか、ART中に引いたのかで展開が異なり、通常時に引いた場合はボーナス中の「鍊金演出」成功を経て、「結界防衛ゾー

ン」と呼ばれるARTへ。ART中に引いたRBの場合は、毎G、「まじかるちゃんす」を抽選します。

### ■ART

ARTへは基本的にボーナスを経て突入。具体的にはボーナス終了後、必ずチャンスゾーンに移行し、ARTのストックがある場合は、リプレイの押し順ナビからARTに突入します。一方、ストックがない場合も、自力による押し順成功でARTへ突入します。

ARTは「結界防衛ゾーン」「カボチャンス」「悪カボチャンス」「キングカボチャンス」「悪キングカボチャンス」「SUPERカボチャンス」の6種類。

軸となるのは「カボチャンス」で、毎G、ストック抽選。加えて、消化中、レア役などから発展する「クロニクルバトル」に勝利すると、「ボーナス+悪カボチャンス」をストックします。

「悪カボチャンス」はバトルに勝つ限り継続するARTで、「まじかるちゃんす」などでARTをストック。さらに、新機能「悪〜ぷ」によりセットストックが発生すると、ストック数が最大80%の継続率でループします。

また、「キングカボチャンス」中はベルぞろいの25%でARTをストックするほか、「まじかるちゃんす」発生で最低5セット、ストック。これら、

「悪カボチャンス」と「キングカボチャンス」の性能を併せ持ったARTが「悪キングカボチャンス」です。

そして、「SUPERカボチャンス」は「魔界ステージ」中のボーナスなどから突入するプレミアムARTで、最低5セット保証。以降、80%ループします（ART平均継続回数約26.5回）。

新基準機として登場するマジハロ最新作ですが、スペックはシリーズで一番人気のあったマジハロ2を継承。当時のファンには楽しみでしょう。

「まじかるちゃんす」や「悪〜ぷ」により、アツい箇所がわかりやすいため、マジハロ未体験のユーザーにも打ちやすい台だと思います。遊べる機種で、大事にしたい1台です。

懸念される点は、ARTの純増枚数が約1枚であることだけ。従来のAT機を打ってきたヘビーユーザーがどのように接するか。今後、似たようなスペックが出るか出ないかの一つの指標になる台だと思います。

### PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ・たつなり）  
株式会社アテイン 代表取締役  
関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は25年以上。現在はホールコンサルタントのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている（詳しくは<http://at-attain.com>参照）。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。